

## 被災地及び被災地病院における“受援”について考える

### 【セミナー開催のねらい】

赤十字の災害医療救護・看護活動は、災害急性期以降も中長期にわたって支援が必要であることが認識され、支援側の教育にも取り入れられつつあります。しかしながら、地域や病院が被災し、医療機関や支援組織・団体から支援を受ける受援側になった時の対応や被災地病院の役割については、これまで十分に議論されてきませんでした。

そこで、東日本大震災や熊本地震を経験された看護職の方と東日本大震災と熊本地震での病院支援医療コーディネーターとしてリーダーシップをとられた看護職の方から話題提供していただき、みなさまと一緒に被災地及び被災地病院の受援について意見交換をしたいと思っております

平成 31 年 2 月 23 日（土） 13:30～16:00（13:00～受付）

日時

会場：日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 603 講義室

※アクセスの詳細は裏面をご覧ください。

### 1 【講演】（15 分） 災害時の受援とは

濱谷 寿子（災害看護活動委員会メンバー）

### 2 【シンポジウム】（120 分）

～被災地及び被災地病院における“受援”について考える～

#### 1. 東日本大震災の被災地病院の経験から

石巻赤十字病院 看護部長 高橋 純子氏

#### 2. 熊本地震の被災地病院の経験から

熊本赤十字病院 看護部長 東 智子氏

#### 3. 病院支援医療コーディネーターとしての経験から

名古屋第二赤十字病院 副院長兼看護部長 伊藤 明子氏

#### ■ 意見交換

ファシリテーター 大和田恭子、内木美恵（災害看護活動委員会メンバー）

対象 一般／看護職

定員 80 名

参加費 無料

※申し込み方法については裏面をご覧ください。

# 平成 30 年度 日本赤十字看護学会 災害看護活動委員会主催セミナー 被災地及び被災地病院における“受援”について考える

参加申し込み書

★ E-mail でお申し込みの方は、下記の内容をご記入のうえお申込みください。

E-mail アドレス : [jrcsns@redcross.ac.jp](mailto:jrcsns@redcross.ac.jp)

★ 【FAX】でお申し込みの方は、下記に必要事項をご記入の上お申し込みください。

FAX: 03-5485-5777

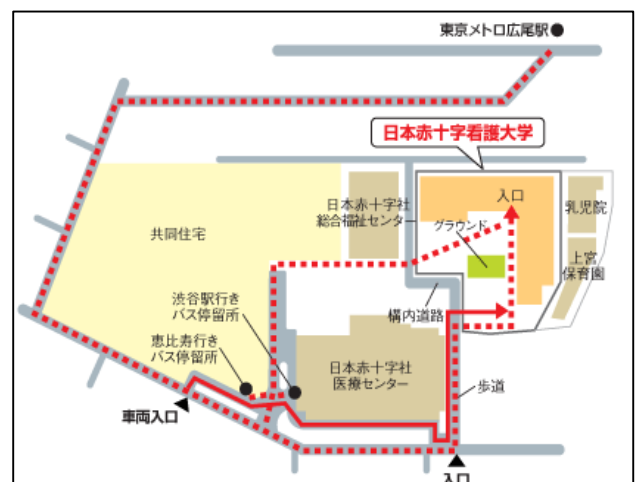
氏名		ふりがな	
ご所属		職種	
メールアドレス			
日本赤十字看護学会	会員 / 非会員		

- 申込締切 : 平成 31 年 2 月 15 日 (金)
- 申込受付は、順次いたしますので、担当者からの返信はいたしません。  
定員オーバー時のみ、担当者からご連絡することがあります。

## 《会場のご案内》

日本赤十字看護大学  
 広尾キャンパス 603 教室  
 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3

- ・ JR 渋谷駅より都営バス (学 03)  
日赤医療センター前行 終点下車
- ・ JR 恵比寿駅より都営バス (学 06)  
日赤医療センター前行 終点下車
- ・ 東京メトロ日比谷線広尾駅から徒歩 5 分



日本赤十字看護学会 : <http://plaza.umin.ac.jp/jrcsns/index.html>